

研究実施のお知らせ

2020年4月1日 ver.1.0

研究課題名

薬剤の代替治療として行った緑内障手術の集計

研究の対象となる方

2018年4月から2020年9月の間に島根大学医学部附属病院で緑内障手術を受けられた方の内、手術を受けられる時点で点眼薬による眼圧下降治療を行っていない方

研究の目的・意義

緑内障では、視神経萎縮を抑制する目的で眼圧下降治療が行われます。多くの場合、まず薬物による眼圧下降治療を行った上で、手術による眼圧下降治療が選択されます。一部の症例では、薬物アレルギーや目薬を上手く使えない等の理由で薬物治療ではなく手術治療が選択されることがありますが、そのような方についてまとめた統計報告はほとんどありません。

本研究課題では、薬物による眼圧下降治療を行わない状態で緑内障手術を行った方について診療録を調査し、その臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。

本研究により、薬物治療では無く、手術治療を選択した方が良い患者さんの特徴が明らかとなる可能性があります。

研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから、年齢、性、緑内障病名、既往歴、手術歴（緑内障術式を含む）、手術合併症、視力、眼圧、視野、前眼部所見、眼底所見、OCT所見、隅角所見、角膜内皮、前房フレア、過去及び術後の使用薬剤名を調査します。

全てのデータは匿名化して扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究の終了を報告してから少なくとも5年間保管し、その後消去します。

研究の期間

2020年5月（研究許可後）～2022年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部眼科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する・情報の管理責任者）：

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹（たにとまさき）

研究事務局：

島根大学医学部眼科学講座 杉原一暢（すぎはらかずのぶ）

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278